

NTT データ地銀共同センターの「共助モデル」高度化の取り組みについて

株式会社秋田銀行（頭取 芦田 晃輔）は、株式会社NTTデータと地銀共同センター^{（注）}参加行とともに、新たな共助モデルの高度化に取り組むことのお知らせします。

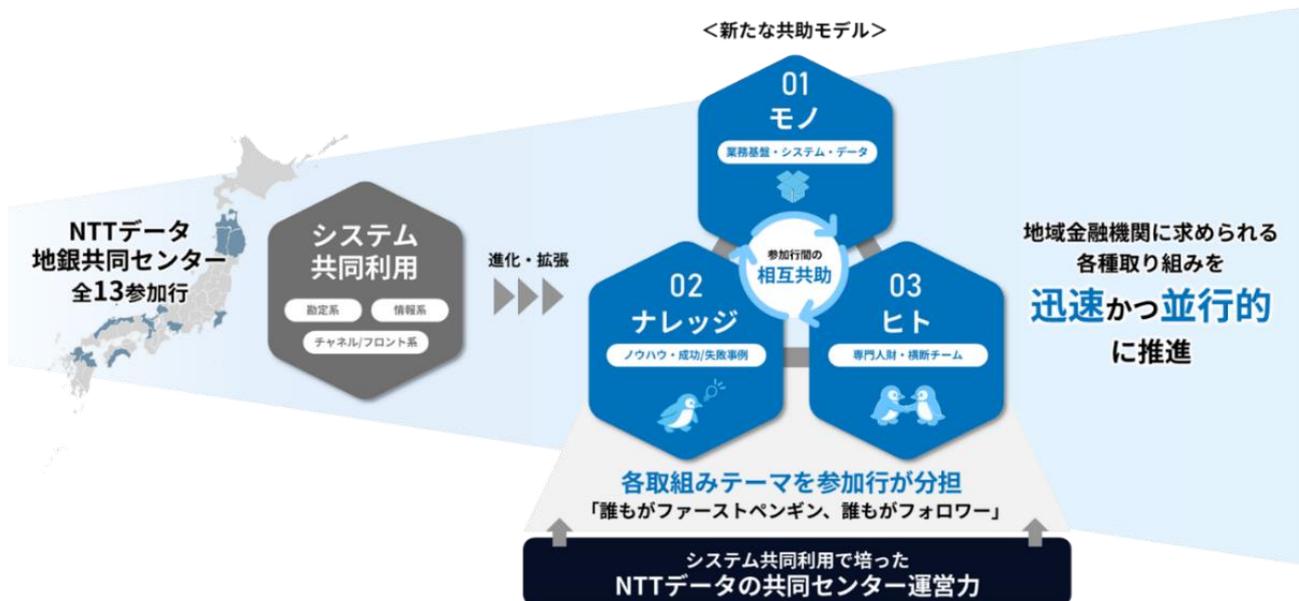
（注）地銀共同センター…NTTデータが構築・運営し、以下の地方銀行・第二地方銀行が参加する基幹系共同センター
 京都銀行、千葉興業銀行、岩手銀行、池田泉州銀行、あいち銀行、福井銀行、青森みちのく銀行、秋田銀行、四国銀行、鳥取銀行、西日本シティ銀行、大分銀行、山陰合同銀行
 （利用開始および銀行コード順）

将来的な人口減少、IT人材不足、高度化・巧妙化するサイバー攻撃、AI等の新技術への対応などの急速な環境変化を見据え、システム共同利用の枠組みを超え、業務プロセスにも踏み込んだ「新たな共助モデル」の高度化に取り組みます。

具体的には、金融庁「金融分野におけるサイバーセキュリティに関するガイドライン」に基づく対策高度化の共同推進、融資をはじめとする専門性の高い業務の高度化・省力化を目指したAIサービスの実装・共同研究、デジタル技術を活用したオペレーション改革の共同検討を開始しています。

本共助モデルは、参加行が「モノ・ナレッジ・ヒト」の3要素を相互に活用し、支え合いながら全体最適を実現する取り組みです。安心・安全で持続可能な金融サービスを提供することで、お客さまにより一層質の高いサービスをお届けできるよう努めてまいります。

【地銀共同センターが目指す共助モデルの高度化・拡張イメージ】



＜目指す取り組み＞

- 周辺システムやツールの共通化によるコスト最適化
- AI活用の共同推進による重複投資の抑制
- 制度改正・技術変化への迅速な対応
- 専門人材の相互活用による対応力向上 など

（以 上）

 秋田銀行

地域とともに歩み、
地域の発展とともに
栄える